

東京都立墨田工科高等学校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語科	社会人として必要な基礎的な学力と、自ら考え解決する姿勢を養う。	中学校程度の漢字学習から復習し、社会に出て必要な漢字知識や一般常識を身に付けさせる。また、敬語に関する基礎的な知識を習得する。	敬語を正しく理解し、使用するなど社会人として必要な常識を身に付ける。取り組みの中から課題を発見し、自ら課題に取り組む姿勢を習得する。
地理歴史科 公民科	歴史や地理の基礎基本事項を学び、現代社会の諸問題を自分のこととして考察し、自発的に生きていくための力を育てる。	復習する機会を設ける。中学校の学習範囲も復習することで基礎基本知識を定着させる。	グループワーク等を積極的に取り入れ、対話を促し、学びを深めていくことで現代社会の諸問題に対して自発的に考えられる力を育成する。
数学科	・基礎事項の定着 ・正確な計算の実践	・高校数学の内容に進む前に、中学校で学ぶ基礎事項の復習し、新たに学ぶ内容との関連性を理解させる。 ・小テストなどで復習の機会を設けて、自己の理解度を認識させるとともに知識の定着を図る。	・学習する内容が日常生活においてどのように利用されているかを示し、様々な事柄について数学的に考察しようとする態度の育成を目指す。
理科	・自然の事物や現象の基礎基本的な知識を身に付け、科学的な見方や考え方を働かせた活動に取り組む力を育成する。	・高等学校の科学的内容に進む前に、関係する中学校で学ぶ知識を復習し、理解を深める。 ・新たに学んだ内容について、復習する機会をつくり、基礎基本的な知識の定着を図る。	・自然の事物や現象についての観察や実験を行うことによって、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、探求するために必要な観察や実験などに関する技能を身に付ける。
保健体育科	生涯にわたり、計画的、継続的に運動やスポーツを実践する資質・能力を育成する。	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・生徒が考える場面と教師が教える場面を計画的に行い、生徒自身で課題解決学習を行い、深い学びを促す。 ・正規ルールにとらわれず、全員がスポーツを楽しめるようルールを工夫し、実践させる。	・オリンピック、パラリンピックに関する指導を行い、積極的なスポーツ行事への参加や学校での部活動の参加を促し、体力等の向上を行う。 ・体力テストの結果から、全国平均と比べ、必要な力や能力を考え、部活動でのトレーニング等に活かす。 ・食事面にも焦点をあて、生涯にわたってスポーツを実践するための身体づくりについて体育や保健の授業でより深く学ぶ。
英語科	基礎学力の定着と基本的言語運用能力の向上	・習熟度別授業の特色を活かしたきめ細かい指導 ・テスト内容の精査、課題の内容及び分量の検討、宿題の工夫	・インタビューテスト、プレゼンテーションを学年単位で実施 ・リスニング英検の指導及び2学年全員受験
家庭科	自立するための知識や技術の向上	・少人数での被服・調理実習の実施 ・基礎的な知識の定着を図るためのプリントの作成 ・生活していく中での問題を自覚できるような学習の充実	・縫製や調理技術向上のための実技テストの実施 ・生活の中で生じる具体的な問題の解決に向けたグループディスカッションの実施
機械科	・「課題解決」につなげる実習の充実。 ・座学については、事象を数値的に捉えたり、実習に関連付ける授業の充実。	・様々な資格取得に向け、過去の出題傾向にある問題の回答実施。 ・一つの製品を設計・製図・製作の流れで授業を実施。 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施。	1・2年次に製品作成、2年次に図面(製図)作成、3年次に設計・製図の実施。 ・製品作成または、実験実習の過程で、起こる事象と座学(機械工作等)の関連付け授業の実施。
自動車科	・自動車について構造と機能を踏まえて理解させる。 ・関連する技術を身につけさせる。	・座学科目においては、ICT教材をより多く活用した授業。 ・実習科目においては、実践的な内容を多く取り入れる。 ・整備士試験合格を目指して、日ごろから対策を講ずる。	・2学年時に電気自動車等の整備業務に係る特別教育を実施する。 ・卒業時に自動車整備士(学科)試験を受験させる。 ・自動車整備士試験対策授業を実施する。
電気	・授業では生徒の探求力を向上できるように内容を工夫し、多くの計器類に触れ実践的に体験する。 ・各実習では、提出物の報告書(レポート)を期限までに提出させる。	・電気に関わる知識と実践を通し、専門的な内容まで幅広く学習し、電気系の資格取得に取り組む、特に第一種及び第二種電気工事取得に向け実施している。	・在学中に第二種電気工事士の資格を取得させ、電気工事関係の企業へ入社希望を充実させる。 ・卒業後、第二種電気工事士(筆記試験免除)、第三種電気主任技術者(実務経験を経て取得可能)がある。
建築科	自主的・主体的に考えて行動できるようになること	①大学進学や就職する際に必要となる「たてものづくり」の基礎的知識と技能の習得 ②先端的な学びの体験や創造する力の育成 ③2級建築施工管理技士1次試験の合格	①設計コンペティション・製図コンクールへの応募 ②卒業直後の2級建築士の取得に向けて、学科試験および製図試験の基礎力の養成